

## 自然学習講座

テーマ：水元公園ナイトウォッチング

日時：令和6年7月27日、8月3日、8月10日(各土)  
18時30分から20時30分まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：各回30人

受付開始：令和6年7月12日(金)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和6年7月18日(木)まで電話で受付し、応募者より抽選。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。  
※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。また、お持ちであれば懐中電灯をご持参ください。  
※ 小学生以下は保護者同伴。



セミの幼虫やコウモリ、カエルなどに活動する生きものを観察します。

## イベント・ガイドウォーク

小学生の夏休み自由研究シリーズ 7月25日、8月1日(各木)  
①9時30分～11時30分  
②13時～15時

自由研究の進め方について楽しみながら学びます。7月25日は糞分析による動物の食性調査、8月1日は生きもののすみか作りを行います。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間  
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



## 水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス	水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)
バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。	金町駅南口→水元公園→金町駅南口	
	水元かわせみの里下車 徒歩1分	水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

## 水元かわせみの里

# 水辺のふれあいルーム通信

令和6年 6月20日  
(通算第207号)



### 水元小合溜の生きもの 197

## ナナフシモドキ

ナナフシ目ナナフシ科

全長 80～100mm

時期 5～11月頃

### 木の枝に化ける、擬態の代表種

細長い体を活かし、前脚をピンと伸ばして木の枝に擬態します。広葉樹の葉を食べて暮らしていますが、昼間はじっと擬態していることが多く、夜間によく採食する姿が見られます。

### ナナフシモドキの“モドキ”ってなに？

一般に『ナナフシ』と呼ばれる昆虫は、正式名称をナナフシモドキといいます。名前の由来としては、ナナフシとは漢字で『七節』と書き、これは七節の木の枝のことを指すからです。この木の枝(=七節)に似ている(=モドキ)ことから『ナナフシモドキ』と名付けられたと言われています。



ナナフシモドキの頭部

### 単為生殖する昆虫

ナナフシモドキは産まれる個体のほとんどがメスで、メスだけで産卵し、子孫を残すことができます。



ナナフシモドキの卵

# 発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



6/14 カルガモ 水辺のさとの田んぼでのびのびと暮らしていた。今年、公園内には3つの家族が見られる。



6/8 オオヨシキリ 水元公園のヨシ原で見られた。ヨシ原近くの木の上などで、「ギョギョシ」と聞こえる大声で鳴く。



6/14 マスクラット 水辺のさとの水路で見られた。特定外来生物だが減少傾向のようで、見つかる頻度は高くない。



6/2 ドジョウ 野草園のカエル池で見られた。繁殖したようで、全長3cm程度の小さなドジョウも多数見られた。



6/15 ネジバナ ピンクの花を螺旋状につけるランの仲間。たまに、ねじれずにまっすぐ花を咲かす株がある。



6/14 ハイロチビミズムシ 水辺のさと付近の水路で見られた。浅く開けた水辺を好む。小さいので見つけるのが大変。



6/14 ヒメアメンボ 水路で見られた。よく飛ぶため、様々な水辺に現れる。水面に落ちたドクガの幼虫を食べていた。



6/14 コマツモムシ 水辺のさとの田んぼで見られた。逆さ向きに泳ぎ、水面の小昆虫などを捕まえて食べる。



6/12 コシアキトンボ 水元かわせみの里周辺で最も多く見られるトンボ。木に囲まれた開けた水辺を好む。

2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

## 専門員コラム 「水生昆虫が教えてくれる豊かさ」の話

水生昆虫とは、一生のうち水辺で過ごす時期がある生きものです。幼虫の頃を水中で過ごすトンボ(9)や、一生を水中で過ごすゲンゴロウなどがそれにあたります。水元公園は東京23区ではもっとも多様なトンボが見られる場所として有名です。そして、ゲンゴロウやガムシの仲間、水生カメムシ(678)などの水生昆虫も、僅かではありますが見ることができます。

水生昆虫の多くは環境の選好性が強く、水草の有無や日照度などにより生息する種が変わります。そのため、水生昆虫は環境指標動物とされ、様々な水生昆虫が見られる場所は、そこに多様な環境があることを示します。多様な環境は、様々な生きものの生息場所であり、私たちの生活を支える「生物多様性」の根幹です。

しかし近年、水生昆虫は全国的に減少傾向にあります。これは水田の消失や護岸工事などで多様な環境が失われたことや、外来種による悪影響が要因と考えられています。つまり水生昆虫の減少は、生物多様性が失われつつあることを示すサインなのです。

水元公園には、トンボを始めとした希少な水生昆虫が今も生息しています。普段見ることの少ない水中の生きものは、実は大切なことを私たちに教えてくれています。水中の環境にも意識を向けながら、水元公園を大切にしていけたらと思います。(野間)



# ボランティア活動報告

## かつしか環境・緑化フェアに出展しました！

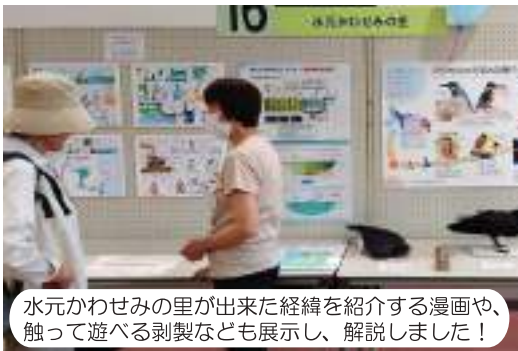
6月9日に葛飾区環境課主催のイベント「かつしか環境・緑化フェア」が開催されました。水元かわせみの里は、様々な生きものの生体展示や触って遊べる剥製展示のほか、カワセミをモチーフとした魚釣りゲームなど、参加者が楽しめる様々な展示を用意して、来場者を案内しました。



案内カウンターでは様々な配布物を用意して、お客様をお出迎えしました。



カワセミ魚釣りゲームでは、カワセミが食べる生きものについて、楽しみながら学べます。



水元かわせみの里が出来た経緯を紹介する漫画や、触って遊べる剥製なども展示し、解説しました！



会場にはとても多くの方がご来場下さり、終始賑やかな様子でした。

## ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業  
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講  
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

# 学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

### 総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

### 職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

### 自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きものの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

## その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。  
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

# 野草園だより 見頃の生きもの 6月編

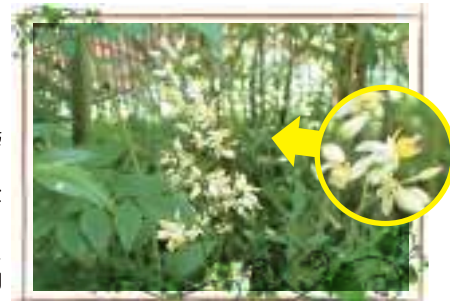
水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

## 6月の見頃

### ナンテン

秋には紅葉し、たくさんの赤い果実を实らせる低木で、庭木や盆栽としても広く植えられます。6月にはほのかに香る白い花が咲き、ハエやハナアブなどが訪れます。

名前は漢字で『南天』と書きますが、『難転』とも読めることから、“難を転じる”として、縁起物や正月飾りに使われます。



### 野草園マップ



見られるポイントはココ！